

授業改善プラン

特別支援教科（ 英 語 ）

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。改善策として ICT の活用を導入するものは**太字**

| | 観 点 | 1 学期 | 2 学期 | | 3 学期 | 小中一貫の 取組 |
|-------------|-------------------|--|--|--|---------------------|-------------|
| | | 今年度の取組 昨年度の課題から | 分析 | 具体的な改善策 | 改善プランの評価 来年度に向けて | |
| 全 学 年 | 知識・技能 | 週に1回、ALT に授業に参加してもらい、本物の英語に触れる時間を多くとる。 簡単な英単語のカルタを使って、遊びながら学ぶ。 | ALT が授業に参加することで、声に出す回数が増え、意欲的に授業に取り組める生徒が増えた。 ABC カルタを使って授業を行うことで、楽しくアルファベットを覚えることができた。 | ALT の授業は引き続き、毎週行っていく。 ABC 以外のカルタやカードを作成し、ゲーム感覚で単語を少しずつ覚えていく。 | | |
| | 思考力・判断力 表現力 | 週に1回の ALT の授業で、ALT への質問を英語で考えて、簡単な会話をする。 毎授業で短い会話をするので、実際に使える場面を増やしていく。 | 質問を作るときに、クロムブックで英語を調べて文章を考えることができた。 短くて簡単な会話を覚えることができた。 | 質問作成は続けていき、慣れない単語にも触れる機会を増やす。英語を話す機会は作り続ける。 日常生活で使える英語を増やせるように、簡単な会話文を増やしていく。 | | |
| | 主体的に学習に 取り組む態度 | 書くことよりも、話したり、読んだりする授業を多く行う。ゲーム感覚で英語に触れることができるように教材を工夫する。 | 楽しく英語を学ぶことで、意欲的に学習に取り組むことができた。 英語の歌を声に出して歌う生徒が増え、苦手意識がなくなった。 | 意欲的に授業に参加し続けられるように、 新しい英語のゲームや歌を授業に組みこんでいく 。 生徒に歌いたい英語の歌を探してもらう。 | | |

カリキュラムマネジメントの視点から
他教科の学習や日常生活でも、日本語を英語で表現したりする機会を増やす。